



5



街の様子

7



6



8




NPO法人 ルワンダの教育を考える会



プレゼンテーション資料

「アフリカの教育現場紹介～ニジェールの場合～」



みんなの学校プロジェクト

ニジェール国住民参画型学校運営改善計画

1

プロジェクト概要

- **プロジェクト名称** :ニジェール国住民参画型学校運営改善計画
- **プロジェクト期間** 2004年1月～2006年12月
- **プロジェクト対象地域** :ニジェール国タウア州
- **プロジェクト目標** :タウア州内の小学校において、住民参画型学校運営を通して学校環境が改善される。

2

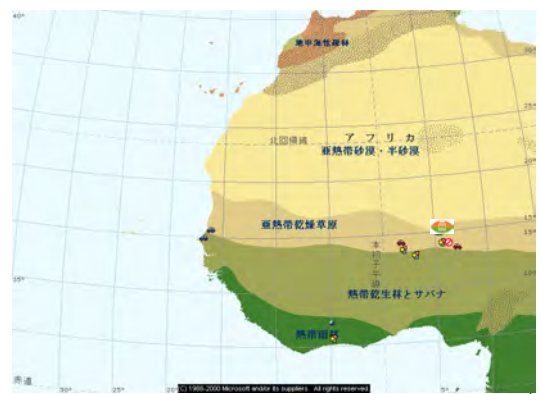
ニジェールの基本情報




3



4



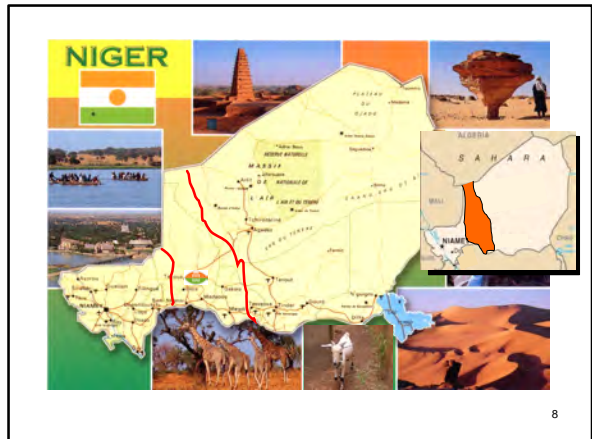
5



6



7



8

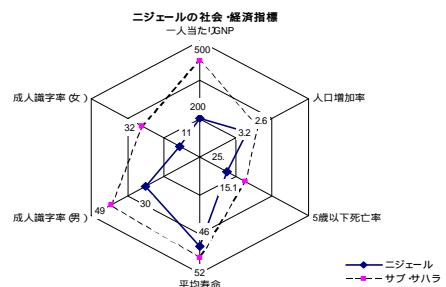
ニジェールの基本情報

- 正式国名 ニジェール共和国
- 面積 126万7000km² (日本の3.4倍)
- 人口 1026万316人(2000年推計)
- 人口増加率 3.3%(2000年推計)
- 人口密度 8.1人/km²推計
- 人口分布
 - 都市部に住む割合 20%(1998年推計)
 - 農村部に住む割合 80%(1998年推計)

9

9

ニジェールの開発の現状



10

10

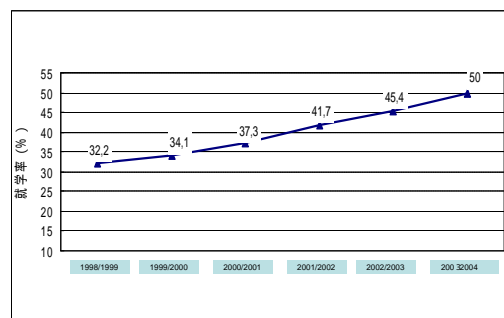
ニジェールの教育開発の位置

- 世界の中のニジェールの教育開発の位置
- 初等教育総就学率 世界最低
- 初等教育女子総就学率 世界最低
- 2015年までの万人の教育の達成が可能か
- FTIの指定国であるが、達成が困難とされている。

11

11

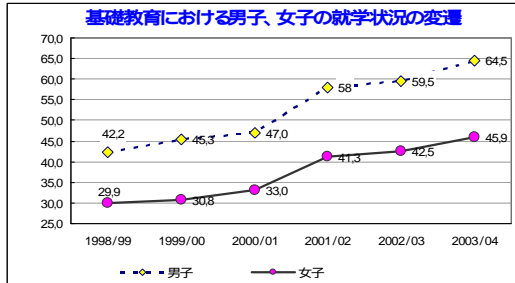
初等教育就学率の推移



12

12

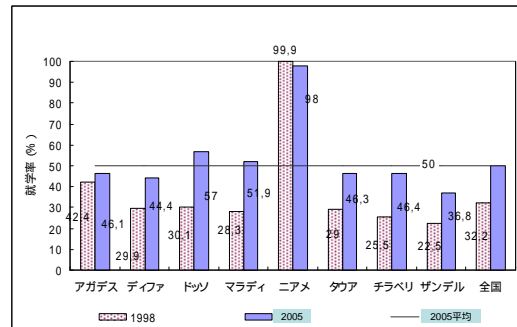
男女別就学率の推移



13

13

州別就学率



14

14

ニジェールにおける教育の現状

- 1. 教育機会の普及度
総就学率50% (2004)、15歳以上の識字率19.9% (2000)
- 2. 教育の質の改善度
留年率34.5% (2000)、試験合格率46.4%とも改善されていない。
- 3. 教育における公平度
男女格差、地域格差、農村、都市間の格差は大きい

15

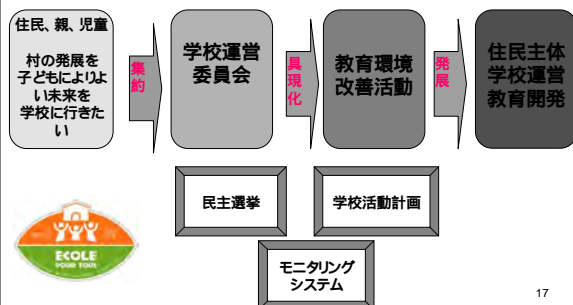
15



16

16

みんなの学校プロジェクトとは



17

17

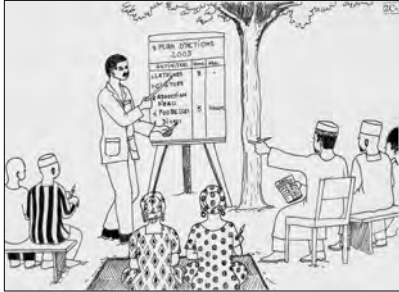
住民組織 (学校運営委員会) の民主選挙



18

18

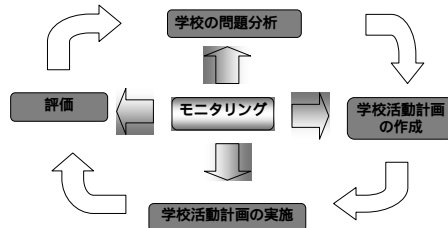
学校活動計画



19

19

学校活動計画のサイクル



20

20

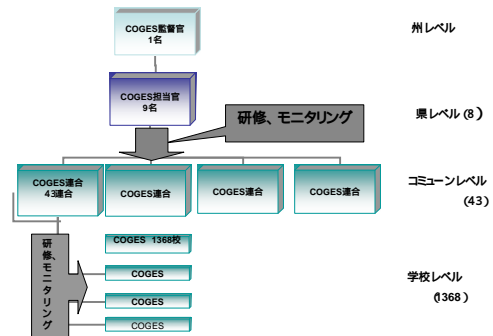
学校活動計画の例

N	活動目的	活動	期間	費用	資金	実施責任者
1	生徒への飲料水の供給	購買 4 水がめ 4 水がめの蓋 4 コップ 1 puiquette 1 組	2005年1月5日 ~15日	• 水がめ 1500 x4=6000 F • 蓋 125 F x4=500 F • コップ 150 x4=600 F • 送料 500F • 組 750 F Total: 8,350 F	保護者の積み立て	COGES指導
2	成績改(夜間授の開始)	購買 石油ランプ 5 ゴザ 10 勉強会グループの結成 勉強スケジュールの決定	2005年10月 24日	• 石油ランプ 11250F=6250F • ゴザ 1250Fx10=12500F • 石油 250Fx40= 10000F Total:28,750F	保護者の積み立て	• 指導者(女子) 2名の担当 • 1学年、2年生の生徒
3	学習環境の改善	購買 1. 机 2. 金具 2. 運送費 3. 工賃	2004年11月 4日~12月 30日	机 11000Fx5=55 000F 金具 4900Fx10=49000 F 4500 F ネジ 1/2 Kg de clou, 800Fx1/2=400 2500F ニス 4000F 運送費 6500F 工賃 Total= 121,500 F	保護者の積み立て	• 副校長 • 会計担当

21

21

モニタリングシステム



22

22

学校運営への住民参加 「みんなの学校」モデル

- 民主的な学校運営委員会の設置
- 学校運営委員会委員の能力改善 (学校活動計画研修)
- 地方行政官と学校運営委員会連合によるモニタリングシステムの確立

23

23

インフラ 建設、整備



24

24

保健衛生 (トイレの建設)



25

25

学校の安全確保



塙作成前

塙作成後



警備員の雇用

26

26

教育の質の向上



夜間学習用のランプの購入



夜間学習



成績発表会



体育の授業

27

27

就学促進



就学促進劇



就学促進の歌



就学促進の踊り



就学促進劇

28

28

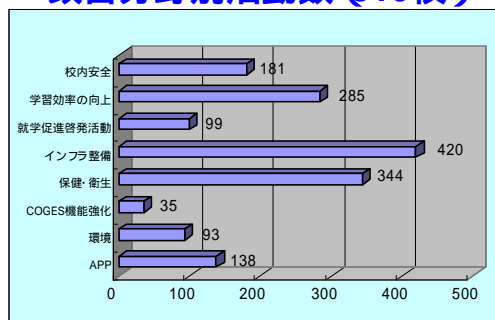
環境 (植林)



29

29

住民の学校活動計画 改善分野別活動数 (310校)



30

学校活動計画内容内訳 (310校)

分野	計画数	活動予算 (CFA)
インフラ (仮設教室、机、椅子の修理)	320	23585550
衛生、保健	291	9180411
生産 実習活動	140	17009960
保安、警備	133	21195265
学習成績	123	8563838
環境	83	2495920
就学促進	80	1118500
学校運営委員会事務局支援	12	352900
合計	1182	83502344
一校あたりの平均	3.94	269,362

31

31

学校に関する住民総会、分担金

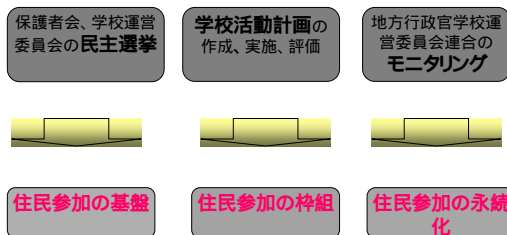
(パイロット校24校のデータ)

	プロジェクト開始以前 (03-04年度)	プロジェクト開始後 (04-05年度)	増加倍率
1校あたり平均住民総会回数	0.4回	3.3回	8.25倍
住民総会参加者数	850人 (推定)	6874人	8.1倍
1校あたり平均拠出金額	29,767Fcf	162,424Fcf	5.5倍

32

32

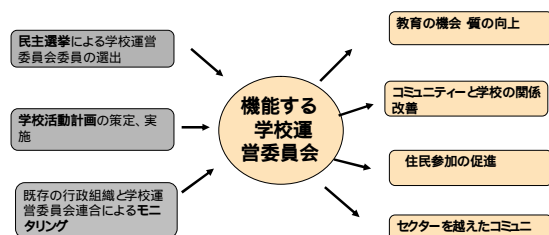
学校運営への住民参加 「みんなの学校」モデル



33

33

みんなの学校の成果



34

34

現在の活動

- 1300校への学校運営委員会の設置 (民主的な選挙の実施)
- 1300の学校運営委員会委員への能力改善 (学校活動計画研修)
- 39の学校運営委員会連合の設置

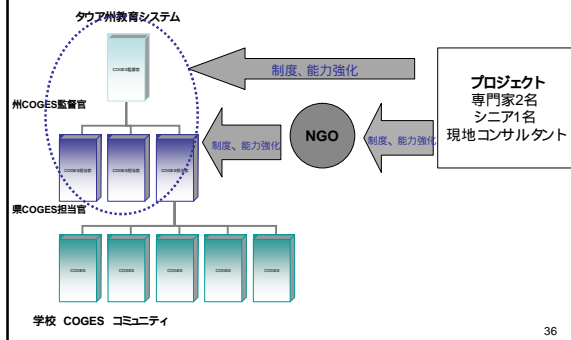


面積 :113,371km2 (全国の10%、)
人口 :1,908,100人 (全国の17%)
主要な産業 :人口の98%が農業
コミュニティ数 43
以下2004/2005の統計から
学校数 :1343校 (0301校)
生徒数 :17.2万人(106万人)
就学率 :48%(平均52%)
修了率 :28%(平均36%)

35

35

プロジェクト実施戦略



36

36

プロジェクトの特徴

- 住民の潜在能力
- プロジェクトモデルの汎用性の追及
 - 既存の組織の活用
 - 研修効率の追求
 - 現地リソースの徹底活用
- 点から面への展開
- 短期成果の組み合わせによる長期成果の達成

37

37



子どもたちに未来を

みんなの学校プロジェクト

Merci

38

プレゼンテーション資料

「なぜ今アフリカの教育が大切なのか？」

jica

なぜ今アフリカの教育が大切なのか？

—アフリカ支援に対する国際的潮流—

国際協力機構
アフリカ部 加藤
2005年12月

1

jica

報道で見るアフリカの現状

サハラ以南のアフリカでは、栄養不良がかかわる病気などで年間約250万人の子どもが命を落とし、小学校に通えない子どもは42%に達します。

アフリカを変えていくのは子どもたち—
生きる…、学校に行く…、今、この子どもたちにチャンス

ユニセフ募金の新聞広告より

2

jica

数値で見るアフリカの現状

Source: UNDP H.D.R. 2003

3

jica

東アジアの自立とアフリカの低迷

東アジアの自立 → **アフリカの低迷**

国際社会の支援が、持続的な経済成長を通じて、貧困削減を実現

国際社会の支援なくして自立困難

2015年におけるMDGs 資金調達ギャップ(対GDP比%)

4

jica

なぜアフリカが経済的離陸をできなかったのか

政府の体制の脆弱性 → 政府の統治能力の問題で、法・秩序の基盤が弱く、国民の支持が弱い

成長しない経済 → 農業の生産性低迷、生産性低下、所得低下、穀物輸入増加、自給率低下、低雇用、高賃金体質、産業発展の制約的資源(技術吸収できる社会的能力)の不足、賦存資源に対する過度の依存、累積債務問題、等

頻繁な地域紛争 → 国境を巡る領有権や複雑な民族問題等に起因した紛争の多発

旧宗主国への依存体質 → 独立後も旧宗主国を中心とした貿易、投資、援助に大きく依存

これらが複層的に影響

5

jica

アフリカは変わろうとしている

アフリカは紛争、貧困問題等悲観的な面に目が向けられがちであるが、90年代以降、大きく変わろうとしている

- アンゴラ、ルワンダやコンゴ民などでは、平和と安全は着実に前進している
- 2002年に改組されたアフリカ連合は、地域の政治・経済統合や紛争の予防・解決に向けた行動を起こしている
- 01年にはアフリカ自身によるアフリカ再建のためのビジョンが打ち出され、紛争やHIV/AIDS等一國で解決できない課題に、地域統合の視点で対処しようとしている
- 20年以上にわたって沈滞していたアフリカ経済は、世界的な油田、鉱山開発の波に乗り、近年になって大きく変化している

アフリカ諸国が、地域紛争の解決、民主化、経済の自由化、行 財政改革等の課題を自らの問題として積極的に取り組んでいる今こそ、国際社会と協調し、アフリカ支援を強化していく時期にある

6

jica 今、アフリカで何が問題か

経済成長が貧困削減につながっていない

失業率は高止まり、農業所得が増えないまま農村人口は増加、平均余命は下がり続け、就学率にも目立った改善はない

Shared Growth 貧困削減

7

jica 日本はアフリカ問題にどう対応するのか

アフリカ支援の基本方針

アフリカ開発会議 (ICAD) のアプローチ

オーナーシップとパートナーシップ
「人間の安全保障」の実現
(人間の尊厳に対する脅威からの保護、個人やコミュニティの問題対処能力育成)

対アフリカ支援 : 3つの柱

人間中心の開発 経済成長を通じた貧困削減 平和の定着

8

jica 国際社会のアフリカ支援の潮流

2005年は「アフリカの年」

4月 アジア・アフリカ首脳会議 (バンドン会議50周年記念)
アジア・アフリカ協力の推進が主要議題

7月 G8グレンイーグルズ サミット
アフリカが主要議題のひとつ

9月 国連「ミレニアム宣言」に関する首脳級会合
ミレニアム開発目標達成のためにもアフリカ開発は重要。

アフリカ自身が自国の開発に責任を負うことを明確にした上で、開発資金の増額の見通しを立てたことや平和と安定、人材育成、良い統治 (ガバナンス)、経済成長を含む幅広い支援策に合意し、G8が一層アフリカを支援していくことで一致

日本は、今後3年間で対アフリカODAを倍増することに加え、今後5年間のODA事業量について100億ドルの積み増しを目指すことを表明

9

jica アフリカにおける基礎教育の重要性

基礎教育は万人にとっての基本的権利、全ての開発事業の基礎
基礎教育の普及は、紛争を回避し、貧困を軽減するためにも重要
「人間の安全保障」を確保するために必須

読み書き能力は生活の質を改善し、人々の安全に直接影響する。
基礎教育、特に女性の教育は保健衛生の基礎である。
教育を普及させることは、個人、地域社会、国家の経済状態を改善する。
学校は、給食や予防接種、対地雷教育、コレラ予防プログラムといった活動の拠点を提供する。
教育は、知識や公共の場での自己表現、民主的な討論などを通して、人々に自由を与える・・・
人間の安全保障委員会報告書(2003)より

サハラ以南アフリカの初等教育の純就学率、識字率のいずれも60%程度にとどまっており、世界で基礎教育が最も遅れた地域

十分な質をもった初等教育の完全普及

10



11

jica 教育は貧困削減に貢献できるのか

教育の普及が進んでも、経済成長やそれを通じた貧困削減につながるかは限らない

初等教育の就学率を向上させながら、同時に初等教育の質を改善することが必要

基礎教育へのアクセスの拡大
初等教育の無償化への政策的な取り組み
多様な資金ソースを活用した小学校建設とアクセス改善のための協力の推進
公教育の代替的もしくは移行的役割を果たす ノンフォーマル教育

教育の質の向上
教員研修
教育マネジメントの改善
地方教育行政官の育成
校長・教員・コミュニティの学校運営への参画やその能力育成

サブサハラアフリカにおける基礎教育協力方針

12

最後に一言

- アフリカ問題の解決なくして
21世紀の世界の安定と繁栄なし
- アフリカを変えていくのは子どもたち

プレゼンテーション資料

「アフリカの教育における現状と課題」



1

数字で見る世界のなかのサブサハラ・アフリカ

	アフリカ	全世界	アフリカの占める割合
人口	7億 1902万人	62億 7250万人	11.2%
面積	2362万 km ²	1億 3564万 km ²	17.4%
国数	48カ国	191カ国 (国連加盟数)	25.1%
国民総所得	4320億ドル	39兆 8336億ドル	1.08% (南アを除くと0.67%)

(2004年関連データから)

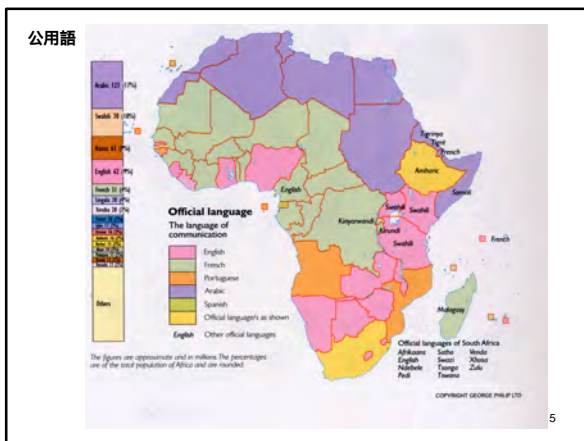
2



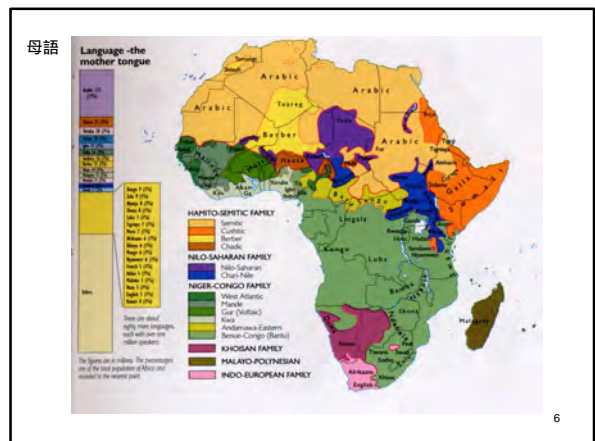
3

国旗	国名 (独立年)	国旗の意味	公用語
	アンゴラ (1975年)	赤は独立の闘争を、黒はアフリカ大陸を、黄は国の富を表し、星は社会主義を、ナタ(鉞)は農業を、歯車は工業を表わしている。	ポルトガル語
	コートジボワール (1960年)	オレンジが繁栄と北部のサバナ地帯を、緑が資源の活用による将来への希望と南部の森林地帯を、白は平和と北部と南部の統一を表している。	フランス語
	トーゴ (1960年)	緑は希望と農業を、黄は地下資源と道徳 精神の向上のための努力を、赤は博愛 希望 愛を、白い星は純潔と独立を守る強い意思を表している。	フランス語
	ガーナ (1957年)	赤は独立のために戦った人々を、黄は地下資源を、緑は森と農地を表し、黒い星はアフリカの自由を導く星。	英語
	マラウイ (1964年)	黒がアフリカのすべての人を、赤は自由を求めて倒れた人々の血を、緑はマラウイの自然を表している。3本の光を放つ太陽は、日の出とアフリカの希望と自由を表している。	英語

4



5



6



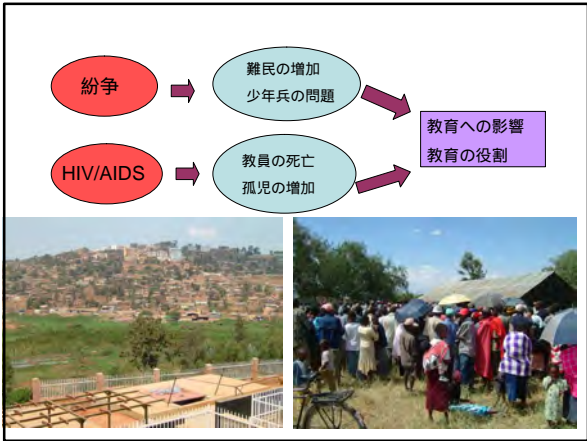
7

地域別初等教育純就学率と未就学児童数（2001年）

地域	初等教育純就学率(%)			未就学児童数 (千人)	割合 (%)
	全体	男	女		
アラブ諸国	81.1	85.1	76.9	7,441.4	7.2
中央・東ヨーロッパ	88.8	89.9	87.7	2,688.1	2.6
中央アジア	94.1	95.0	93.2	390.5	0.4
東アジア / 大洋州	93.7	93.7	93.6	11,993.2	11.6
ラテンアメリカ / カリブ海	95.7	95.6	95.9	2,468.4	2.4
北アメリカ / 西ヨーロッパ	95.4	95.1	95.7	2,385.7	2.3
南 / 西アジア	79.0	84.7	73.0	35,807.7	34.6
サブサハラ・アフリカ	62.8	66.4	59.2	40,291.3	38.9
全世界	84.0	86.5	81.5	103,466.3	100.0

出典) UNESCO, EFA Global Monitoring Report 2005, 2004, p.293.

8



9

教育は貧困削減に貢献できるのか？

就学率は劇的に改善したが、貧困は緩和されなかった。

貧しい人々の学校に対する期待と失望

国の経済が発展しなければ、学校を卒業しても仕事がない。

10

アフリカに対する教育援助・協力の重要性

なぜアフリカなのか？

なぜ教育なのか？

「国益」の議論を超えて

11

誰にでも今日からできる国際協力

「一緒に考えよう 子どもたちの未来」

「アフリカへの教育支援と私たちの関わり」

パネルディスカッションへ

12